事業 番号	事業名	内 容	対象外 項目番 号
	都市計画決定事業		
1	都市計画策定・企画調整事業	都市計画に関する調査、計画立案等に関すること	1
2	都市計画基本図修正事業	地形地物の修正及び都市計画決定等のデータ修正	1
3	都市計画決定手続き事業	ごみ焼却場の廃止及びリサイクルセンターの決定、大磯駅自転車駐車場の廃止	1
4	都市計画審議会事業	都市計画審議会開催・運営に関すること	2
	まちづくり推進事業		
5	大磯町まちづくり条例事業	大磯町まちづくり条例の運用を行う	2
6	まちづくり基本計画事業	大磯町まちづくり基本計画の運用評価及び計画の見直し検討を行う	6
7	まちづくり審議会事業	まちづくり審議会の開催・運営に関すること	2
8	住居表示事業	住居表示関連業務全般	1
9	空き家、住環境施策事業	空き家、住環境に関する調査等の対応	⑤
10	自転車ネットワーク計画事業	自転車ネットワーク計画の策定を行う	6
11	駅前広場周辺整備事業	大磯駅前広場周辺エリアの再整備の検討	6
	開発建築事業		
12	都市計画法第32条同意協議 事業	開発行為に対するまちづくり条例に基づく指導調整	1
13	都市計画法第43条申請経由 事業	都市計画法に基づく申請の経由事務	7
14	建築確認申請経由事業	建築確認申請の経由事務	7
15	建築協定事業	建築協定に関する事務	7
16	開発事業紛争調停委員会事 業	開発紛争調停委員会に関する事務	2
	景観づくり事業		
17		景観施策の企画及び総合調整に関すること	7
18	景観重要建造物事業	景観重要建造物の指定に関すること	2
19	景観応援団事業	景観応援団の開催、事務	2
	耐震改修促進事業		
20	耐震改修補助事業	住宅の耐震診断及び耐震補強工事等の補助に関する事務、建築物震後対策推進に関する事務	-
	都市交通推進事業		
21	都市交通事業	廃止路線のバス運行補助を行う。また、西小磯の一部地区に乗合タクシーの運行委託を行う。	-
22	地域公共交通会議事業	大磯町地域公共交通会議の開催・運営に関すること	2
23	歴史的建造物等整備事業	本町の歴史、文化、生活を現在に伝える歴史的又は文化的価値の象徴となる建造物の保全及び活用を図る	7
	公園運営事業事務		
24	都市公園運営事業	公園運営における各種事務処理、会合出席、公園緑地里親制度事務	2
25	公園緑地維持管理事業	季節公園緑地の清掃・除草・清掃ゴミの収集運搬、樹木の剪定、遊具の点検等	-
26	運動公園維持管理事業	 指定管理者制度に基づき大磯運動公園の管理を行う	-
27	児童遊園維持管理事業	 山王町児童遊園(なかよし公園)を適正に維持管理するため、委託による清掃等を行うとともに、遊具の安全 点検等施設の維持管理を行う	-
28	いくさわ西の池跡公園整備事業	生沢プール跡地を地区住民のための広場として整備していく	3
29	都市公園台帳整備事業	都市公園台帳が未整備な公園について、順次、都市公園台帳を作成する	5
30	公園トイレ改修事業	なかまる公園、化粧坂公園の改修工事を実施	5
31	公園施設長寿命化対策事業	大磯運動公園の転落防止柵、ウッドデッキ、噴水広場の改修工事を実施する	5

	花とみどり推進事業		
32	花とみどり推進事業	庁内の緑化に対する助成、公園におけるボランティア活動の助成	-
33	保存樹木事業	庁内の特定樹木の保護	5
34	かながわトラストみどり財団事 業	負担金支出、会合出席等	1
35	緑の基本計画事業	策定され <i>たみ</i> どりの基本計画の運用	7
36	みどり基金積立事業	町に残された自然環境や歴史的環境を保全するとともに、緑化の推進を図る事業の財源とするため、必要な経費日を積み立てる	2
37	国土利用計画法事業	国土法届出に関する業務	1
38	公有地の拡大の推進に関する法律業	公拡法届出に関する業務	1
39	社会資本整備総合交付金事業	社会資本整備総合交付金に関する事務	7
40	松くい虫被害対策自主事業	松くい虫の防除として、樹幹注入及び松の伐倒。抵抗黒松の苗木配布	-
41	課内庶務事業	文書照会回答、課内各種集計等	2
42	災害復旧事業	公園施設等が災害により、被害を受けたとき復旧等を行う	1

		シート作成日	平成28年9月15日
予算事業名	耐震改修促進事業	担当課名	都市計画課
了异学未行	辰以修促连事未	係名	開発指導係
細分事業名	₹名 耐震改修補助事業 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		20
一]	事業開始年度	平成18年度

柱	I 安全で安心なあたたかみのあるまちづくり	94 11/11	合計画実施計画
部門	1 危機管理	認定番号	1–3
大施策	B 防災基盤の整備	事業名	建築物耐震改修等補助事業
中施策	(1) 災害に強い基盤整備の強化		

2 事業の概要

<u> </u>	** **********************************	美の概要									
根	拠法	令・条例等	大磯町耐湿	虔改修促進	計画、大	磯町住宅和	付震化哥	事業補助:	金交付要綱		
	個別	引計画等					_				
行政経営プラン 実施計画事業 実施番号 — 実施項目名 — 一						_					
	(何(目的 のために)									
		対象 を・何を)	昭和56年5月31日以前に建築確認済証を取得した住宅								
	内容 耐震改修促進計画に基づき、住宅の耐震化率を90%とすることを目標とし、昭和56年5月31 前に建築確認済証を取得した住宅の耐震化事業に対する補助							和56年5月31日以			
	執	に行体制	■ 町職員第	€施		一部委託	あり		全部委託		」 <mark>その他</mark>
				単位		成26年度 (決算)			成27年度 決算見込)		平成28年度 (予算)
	直	接事業費	(a)	千円	1, 185			2, 474			3, 448
		国庫支出金	:	千円		297		1, 146			1, 681
		県支出金		千円		195		491			768
事		起債		千円							
業		その他		千円							
費		一般財源		千円		693			837		999
	職員人数(概算職員数)		草職員数)	人		0. 23			0. 32		0. 47
	人 件 費 計 (b)		千円		1, 409			1, 910		2, 251	
	総	8事業費 (a)+((b)	千円		2, 594			4, 384		5, 699
	事業費内訳										

		と見込み、目標 票 名)	単位	26年度 (実績値)	27年度 (実績値)	28年度 (見込み又は計画値)
対象指標	1	耐震性のない住宅総数	戸	4, 617	4, 521	4, 421
(対象者数等)	2					
活動指標	1	耐震診断実施戸数	戸	4	7	10
(活動量)	2	耐震改修実施戸数	戸	1	3	3
成果指標	1	耐震化率	%	67. 83	68. 66	69. 66
(達成度等)	2	耐震相談会	口	1	1	1

٠.	チジチャンロー	ш						
			■ 妥当	□ <mark>おおむね妥当</mark>		変更の必要	あり	□ その他
妥当	・実施主体は 妥当か	理由	国や県(補助金関係いる。	、町関係各課(危	機管	理課や税務課))と連携	馬を取りながら実施して
性			妥当	□ おおむね妥当		改善の必要	あり	□ その他
	・実施手段は 妥当か	理由	平成24年度の行政評 沿い)を行い、優先的			直点的に進める	ゾーニ	ング設定(緊急輸送道路
			□ <mark>得られている</mark>	おおむね得られている		得られている	ない	□ その他
成果	・意図した成果 が得られてい るか	理由	住宅耐震診断後、補り改修後に住む者の予					あるいは後継者問題もあ くもある。
			□ 効率的	■ おおむね効率的		非効率		□ その他
効率	・コストに対し て効率的か	理由	必要最小限の経費で	『事業を進めている。				
性			■図った	□ 図られていない		図る余地は	無い	□ その他
	・コストの削減 等を図ったか	理由	国や県の補助金を活	用している。				
			A 妥当性、成果、効	^车 性はおおむね良いが、	改善	の余地がある		評価理由
3	担当課による評価		B 事業の一部見直 C 事業の抜本的な	見直しが必要			の想定 の余地 ずつ着	化率が耐震改修促進計画 を下回っているため改善 はあると言えるが、少し 実に向上してきているた
			D 事業継続の必要	性か低い(休止・原	発止.)	め I A	」とした。

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点

耐震化の啓発について、「広報おおいそ」やホームページへの掲載、耐震の無料相談会を開催する等の耐震PR活動に努めるとともに、空き家対策と同時に住環境施策の充実を図っていく必要がある。

② 平成28年度に着手する事項

空き家対策を進めながら、大磯町耐震改修促進計画との整合性を図っていく。

③ 平成29年度に着手する事項

平成28年度の成果を踏まえ、空き家対策と耐震改修促進との整合性を高めていく。

6.平成29年度事業への取組み状況(改善内容等)

記入日

平成29年3月28日

空き家等の利活用を推進し、住宅の耐震化率の向上に努めるとともに、耐震診断をさらに推進するため、新たに緊急 輸送道路沿道の住宅及び非課税世帯の住宅に対し、現行の補助額を増額し、耐震への関心度を増すよう努めていく。

		シート作成日	平成28年9月27日
予算事業名	都市交通推進事業	担当課名	都市計画課
了并带木石	即中又是在连手术	係名	都市計画係
細分事業名	都市交通事業		21
	即川又世尹未	事業開始年度	平成15年度

柱	Ⅴ 個性と魅力と活力のあるまちづくり	W.C	合計画実施計画
部門	4 道路・交通	認定番号	_
大施策	B 生活交通への対策	事業名	_
中施策	(1) バス利用対策の推進/(2) 公共交通の利便性の改善		

2 事業の概要

<u> </u>	尹未	(の概要										
根	拠法	令・条例等		<u>—</u>								
	個別	削計画等	大磯町地域公共交通総合連携計画									
:		経営プラン 計画事業	実施番号	香号 — 実施項目名 — —								
		目的 Dために)	①路線バスの撤退が示された富士見地区(虫窪・黒岩・西久保地区)の公共交通の確保 ②公共交通の利用が不便な生活交通空白地域への新たな公共交通導入の検討									
		対象 <u>た</u> ・何を)	O	①虫窪・黒岩・西久保地区住民及び同地区を目的地とする者 ②西小磯の一部地区								
		内容	①富士見地区の路線バスの撤退申出を受け、撤退した路線バスの運賃を補助することで二宮駅 富士見地区間を中心とした路線バス運行事業者による運行を開始 ②地域住民有志団体「西小磯東地区地域交通推進の会」とともに検討を行い、当該地区に最も 適した公共交通として乗合タクシーの運行を開始									
	執	行体制	□ 町職員事	€施	□ 一部委託	あり	□ 全部委託	■ その他				
	_			単位	平成26年度 (決算)		平成27年度 (決算見込)	平成28年度 (予算)				
	直	接事業費	(a)	千円	20, 507		18, 885	21, 260				
		国庫支出金		千円								
		県支出金		千円								
事		起債		千円								
業		その他		千円								
費		一般財源		千円	20, 507		18, 885	21, 260				
	耶	战員人数 (概算	草職員数)	人			0. 30	0. 26				
		人件費計	(b)	千円			1, 791	1, 501				
	総事業費 (a)+(b) 千円 20,507 20,676 22,761							22, 761				
	事業費内訳 会議報酬:78千円 旅費:10千円 乗合タクシー運行委託:1,368千円 生活交通確保対策事業補助金:19,882千円											

		と見込み、目標 『名)	単位	26年度 (実績値)	27年度 (実績値)	28年度 (見込み又は計画値)
対象指標	1	富士見地区人口(4月1日)	人	809	786	785
(対象者数等)	2	運行便数	本/日			21
活動指標	1	乗車人数	人/年	25, 000	25, 000	24, 500
(活動量)	2	運行便数	本/日			6
成果指標	1	乗車人数	人/年	25, 132	24, 071	24, 500
(達成度等)	2	運行便数	本/日			6

᠆᠇.	チジチャンロー	Ш				
			■ 妥当	□ おおむね妥当	□ 変更の必要	あり □ その他
妥当	・実施主体は 妥当か	理由	による継続的なバス また、乗合タクシ	運行のため路線バス運	行事業者が実施す タクシー事業者に	委託することで、町が車両を手
性			■ 妥当	□ <mark>おおむね妥当</mark>	□改善の必要	あり □ その他
1-	・実施手段は 妥当か	理由	ス車両による運行が また乗合タクシー	i妥当である。 ·については、地区内の	地形により大型車	校させる必要もあることからバ 両の運行が困難である。また、 めないことから普通車両による
			□ 得られている	■ <mark>おおむね得られている</mark>	□ 得られてい	<mark>ない</mark> □ その他
成果	・意図した成果 が得られてい るか	理由	限られた便数の中 用はなされている。	で、地域の児童、生徒	の登下校、買物や	通院など当初意図としていた利
			□ 効率的	□ おおむね効率的	□ 非効率	■ その他
効率	・コストに対し て効率的か	理由	率性のみを求めるこ 要がある。	とは適切ではないが、	少しでも町の財政	ため、一概にコストに対する効 負担を減らす取り組みを行う必 一定の利用者負担を求めるな
性			□図った	□ 図られていない	□図る余地は	無い ■ その他
	・コストの削減 等を図ったか	理由	る余地は少ないが、		運行データの精査	減らすことにつながるため、図 によりダイヤ等の見直しを図 。
			A 妥当性、成果、3	効率性はおおむね良いが、	改善の余地がある	評価理由
:	担当課による		B 事業の一部見	直しが必要		補助路線バスの運賃収入は増加傾向にあるため、概ね成果が出ていると言える。
	評価		C 事業の抜本的	な見直しが必要		乗合タクシーについては運行が開始され、概ね想定された利 用本数が運行されている。しか
			D 事業継続の必	要性が低い(休止・)	廃止)	しながらいずれも町の支出を抑 える運行方法の検討が必要であ る。

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点

利用状況の調査を行い、運行方法の検討を引き続き行っていく。

② 平成28年度に着手する事項

地元住民の意識調査や運行データの精査を行う。それらの結果次第では、ダイヤ等の改正等を行う。

③ 平成29年度に着手する事項

地元住民の意識調査や運行データの精査を行う。それらの結果次第では、ダイヤ等の改正等を行う。

6.平成29年度事業への取組み状況(改善内容等)

記入日

平成29年3月28日

地元区長や関係者に現行の運行について意見をいただくとともに、事業者と引き続き運行方法の協議を行う。

		シート作成日	平成28年9月27日
予算事業名 公園運営事務事業		担当課名	都市計画課
了并带木石	A 图 连 召 争 仂 争 未	係名	都市計画係
細分事業名	公園緑地維持管理事業		25
一	公图	事業開始年度	_

柱	Ⅲ 人と自然が共生する循環のまちづくり	\$/2 No.	合計画実施計画
部門	2 公園	認定番号	_
大施策	A 特色ある公園づくり	事業名	_
中施策	(1)公園づくりの推進/(2)公園の管理運営		

2 事業の概要

<u> </u>	尹 孝	ミの								
根	拠法	令・条例等	都市公園法、町都市公園条例							
	個別	川計画等	大磯町緑の	基本計画	基本計画					
		経営プラン 計画事業	実施番号	_	実施項目名		_			
		目的)ために)		・クリエーション、健康増進及び福祉の向上の場として公園の利用増進を図るととも 観を維持するため、緑地の維持管理を実施						
		対象 Ŀ・何を)	町内の都市	⋾公園・緑地	也(街区公園:42	箇所、都市緑地:8億	5所)			
内容 既設公園・緑地の清掃、除草、清掃ゴミの収集運搬、樹木剪定、遊具とともに、公園利用者等からの要望や意見に対する対応等を行っている						修繕等の実施する				
	執	行体制	□ 町職員実	尾施	■ 一部委託	あり 口 全部	『委託	□ その他		
	_			単位	平成26年度 (決算)	平成2 [°] (決算)		平成28年度 (予算)		
	直	接事業費	(a)	千円	21, 645	21,	712	21, 477		
		国庫支出金		千円						
		県支出金		千円						
事		起債		千円						
業		その他		千円						
費		一般財源		千円	21, 645	21,	712	21, 477		
	聙	战員人数 (概算	草職員数)	人	0. 47	0. 2	27	0. 28		
	人 件 費 計 (b)		千円	2, 880	1, 6	512	1, 616			
	総事業費 (a)+(b)			千円	24, 525	23,		23, 093		
	事業費内訳									

各種指標の実績と見込み、目標 (指 標 名)			単位	26年度 (実績値)	27年度 (実績値)	28年度 (見込み又は計画値)
対象指標	対象指標 ① 清掃対象公園緑地数		箇所	47	47	48
(対象者数等)	2	要望等の件数	口	88	60	120
活動指標	1	清掃回数	件	1, 000	1, 000	1, 036
(活動量)	2	要望等の処理件数	口	77	55	120
成果指標	1	1公園緑地当たりの年間清掃回数	件	22	22	22
(達成度等)	2	要望等の処理率	%	88	92	100

			■ 妥当	□ <mark>おおむね妥当</mark>	□変更の必要	<mark>あり</mark> □ その他
妥当	・実施主体は 妥当か	理由	清掃・ゴミの運搬や	や樹木の剪定等を町内	団体等へ委託して	いる。
性			■ 妥当	□ おおむね妥当	□ 改善の必要	<mark>あり</mark> □ その他
12	・実施手段は 妥当か	理由	要望の一次対応等に	は職員が行い、必要に	応じて業者に委託	している。
			□ 得られている	おおむね得られている	□ 得られている	<mark>ない</mark> □ その他
成果	・意図した成果 が得られてい るか	理由	清掃業務等を町内の れている。	の団体等へ委託するこ	とで、地域の実情	に応じて、適正な維持管理が図
			□ 効率的	■ <mark>おおむね効率的</mark>	□ 非効率	□ その他
効率	・コストに対し て効率的か	理由	要望の一次対応等(が図れている。	は職員が行い、必要に	応じて業者に委託	することで、効率的な維持管理
性			■図った	□ 図られていない	□図る余地は	無い □ その他
・コストの削減 等を図ったか 申由 公園の清掃・ゴミの運搬を、町内団体(ストの削減を図っている。 また、アダプト制度の活用により、ボラ						
			A 妥当性、成果、効	率性はおおむね良いが、	改善の余地がある	評価理由
1	担当課による評価		B 事業の一部見直 C 事業の抜本的な		å ∞ ₁L ∖	決められた予算の範囲内で、 既存公園等の維持管理業務を適 正に行っている。 予算の削減に向けた業務改善 等は必要である。
			ひ 事未秘税の必多	ミエル・ドウ・(小一一。	光工/	する必女でのる。

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点

既存公園の施設については老朽化が進んでいることから、安全・安心の観点から、遊具を含む公園施設の点検・修繕に重点的に取り組む必要がある。

② 平成28年度に着手する事項

安心安全な公園運営を行うため、遊具を含む公園施設の点検・修繕や、樹木剪定・清掃等を確実に実施する。

③ 平成29年度に着手する事項

平成28年度の遊具点検結果を踏まえ、必要な修繕を行うとともに、トイレチェックシートなどを活用して清掃を行うことで、安全で快適な維持管理に努める。

6.平成29年度事業への取組み状況(改善内容等)

記入日

平成29年3月28日

公園トイレが何箇所か水洗式に改善されたこともあり、常に利用者に清潔感を感じられるようなトイレを目指す。 公園遊具についても、年数的な老朽化も進んでおり、より安全な管理を心がける。

		シート作成日	平成28年9月27日
予算事業名	運動公園維持管理事業	担当課名	都市計画課
了并带木石	<u>建到</u> 五图唯176日 建	係名	都市計画係
細分事業名		事業番号	26
一個力爭未有	_	事業開始年度	_

柱	Ⅲ 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画		
部門	2 公園	認定番号	_	
大施策	A 特色ある公園づくり	事業名	_	
中施策	(3)運動公園の管理運営			

2 事業の概要

2.	争寻	長の概要									
根	拠法	令・条例等	都市公園法	都市公園法、町都市公園条例							
	個兒	引計画等	大磯運動公	動公園施設長寿命化計画							
		経営プラン 計画事業	実施番号	番号							
	(何の	目的 のために)	町民のレク	クリエーション、健康増進及び福祉の向上の場として利用増進を図るため。							
		対象 を・何を)	大磯運動名	〉園(野球	場、多目的広場、	テニスコ	1一ト4面等)				
	内容 町都市公園条例に基づき、指定管理者を指定し、運動公園の運営管理や自主事業の開催、2 施設の維持管理業務などを行っている。					や自主事業の開催、公園					
	執	行体制	□ 町職員実	ミ施	□□□□部委託	あり	□ 全部委託	□ その他			
	_			単位	平成26年度 (決算)		平成27年度 (決算見込)	平成28年度 (予算)			
	直	接事業費	(a)	千円	23, 866	3, 866 23, 625		22, 528			
		国庫支出金	:	千円							
		県支出金		千円							
事		起債		千円							
業		その他		千円							
費		一般財源		千円	23, 866		23, 625	22, 528			
	耶	哉員人数 (概算	草職員数)	人	0. 15		0. 23	0. 20			
	人 件 費 計 (b)		(b)	千円	919		1, 373	1, 154			
	総	多事業費 (a)+((b)	千円	24, 785		24, 998	23, 682			
	事業費内訳 需用費:600千円 役務費:146千円 委託料:21,752千円 使用料及び賃借料:30千円 H 28 年度										

		と見込み、目標 票名)	単位	26年度 (実績値)	27年度 (実績値)	28年度 (見込み又は計画値)
対象指標	対象指標 ① 有料施設の登録団体数		団体	2, 000	2, 052	2, 192
(対象者数等)	2					
活動指標	1	有料施設の利用者数	人	60, 176	77, 000	88, 000
(活動量)	2	自主事業のメニュー数	1	4	9	13
成果指標	1	自主事業の参加人数	人	4, 507	6, 459	8, 260
(達成度等)	2					

٠.	チジャギッ	ш				
			■ 妥当	□ <mark>おおむね妥当</mark>	□変更の必要	<mark>あり</mark> □ その他
妥。	・実施主体は 妥当か	理由	大磯町都市公園条例 を図っている。	の指定管理者の指定(の基準に基づき、	指定管理者を指定し、管理運営
当性			■ 妥当	□ おおむね妥当	□ 改善の必要	<mark>あり</mark> □ その他
12	・実施手段は 妥当か	理由	大磯町都市公園条例	川に基づき、指定管理2	者制度により維持	管理を図っている。
			□ 得られている	おおむね得られている	□ 得られている	<mark>ない</mark> □ その他
成果	・意図した成果 が得られてい るか	_	民間の事業者のノウ を提供している。	7ハウを活用して、利	用者の多様なニー	ズに応えた、質の高いサービス
			□効率的	■ <mark>おおむね効率的</mark>	□ 非効率	□ その他
効率	・コストに対し て効率的か	理由	民間の事業者のノウ	7ハウを活用して、効	果的・効率的な管	理運営を図っている。
性			■図った	□ 図られていない	□図る余地は	<mark>無い</mark> □ その他
	・コストの削減 等を図ったか	理由				ている。 2行為を行う事で、5年間で500
			A 妥当性、成果、効	率性はおおむね良いが、	改善の余地がある	評価理由
	担当課による評価	 □ □	B 事業の一部見直 C 事業の抜本的な D 事業継続の必要		蒸止)	さらなる運動公園の多目的で 効率的な管理・運営に取り組む 必要がある。
						•

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点

自主事業の拡大などにより、利用者の拡大に取り組む必要がある。

② 平成28年度に着手する事項

大磯運動公園施設長寿命化計画に基づき、ウッドデッキ、噴水広場、多目的グラウンド周り転落防止柵の改修を行う。

③ 平成29年度に着手する事項

大磯運動公園施設長寿命化計画に基づき、改修を必要とする施設から順次着手していく。

6.平成29年度事業への取組み状況(改善内容等)

記入日

平成29年3月28日

指定管理者による自主事業の拡大を推進するとともに、平成26年度に策定した公園施設長寿命化計画に基づき、芝ソリゲレンデ活用方法について検討を行う。

		シート作成日	平成28年9月27日
予算事業名	児童遊園維持管理事業	担当課名	都市計画課
了异学未行	尤里យ困桩符目任事未	係名	都市計画係
細分事業名	畑八東業々		27
神刀争未 有	_	事業開始年度	昭和60年

柱	Ⅲ 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画		
部門	2 公園	認定番号	_	
大施策	A 特色ある公園づくり	事業名	_	
中施策	(1)公園づくりの推進/(2)公園の管理運営			

2.事業の概要

2.争未仍似安										
根拠法令・条例等 町児童遊				町児童遊園条例、児童福祉法						
	個兒	引計画等	-							
:		経営プラン 5計画事業	実施番号	_	実施項目名		_			
	(何(目的 のために)	児童のレク	リエーシ	ョン等の場として	利用增流	進を図るため			
対象 (誰を・何を) 山王町児童遊園										
		内容			草、清掃ゴミの収 用者等からの要望		. 樹木剪定、遊具点検・修 こ対する対応等。	§繕等の維持管理業務を		
	執	に行体制	□ 町職員第	ミ施	□ 一部委託	あり	□ 全部委託	□ その他		
				単位	平成26年度 (決算)		平成27年度 (決算見込)	平成28年度 (予算)		
	直	接事業費	(a)	千円	1, 258		1, 456	1, 449		
		国庫支出金		千円						
		県支出金		千円						
事		起債		千円						
事業費		その他		千円						
費		一般財源		千円	1, 258		1, 456	1, 449		
	耳	職員人数 (概算	草職員数)	人	0. 08		0. 08	0. 23		
人件費計		人件費計	(b)	千円	490		478	1, 328		
総事業費 (a)+(b)				千円	1, 748		1, 934	2, 777		
事業費内訳 需用費:150千円 委託料:437千円 使用料及び賃借料:862千円										

		と見込み、目標 票 名)	単位	26年度 (実績値)	27年度 (実績値)	28年度 (見込み又は計画値)
対象指標	1	要望等の件数	件	4	4	10
(対象者数等)	2					
活動指標	1	要望等の処理件数	件	3	3	10
(活動量)	2					
成果指標	1	要望等の処理率	%	75	75	100
(達成度等)	2					

- の他 - の他 - の他
· の他
·の他
Eな維持管理が図
-の他
加率的な維持管理
·の他
⁻ ることで、コス
価理由
の予算で、既存施 業務を適正に行っ
- 0 一 (個 の)

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点

既存施設については老朽化が進んでいることから、安全・安心の観点から、遊具を含む公園施設の点検・修繕に重点的に取り組む必要がある。

② 平成28年度に着手する事項

安全・安心な施設運営を行うため、遊具を含む公園施設の点検・修繕や樹木剪定、清掃等を確実に実施する。

③ 平成29年度に着手する事項

平成28年度の遊具点検結果を踏まえ、必要な修繕を行うとともに、トイレチェックシートなどを活用して清掃を行うことで、安全で快適な維持管理に努める。

6.平成29年度事業への取組み状況(改善内容等)

記入日

平成29年3月28日

引き続き遊具や植栽の適切な管理を行い、安全で安心して遊ぶことができる児童遊園の環境をつくる。

		シート作成日	平成28年9月29日
予算事業名	業名 花とみどり推進事業		都市計画課
了并带木石	化とかとり推進事業	係名	都市計画係
細分事業名	花とみどり推進事業	事業番号	32
和刀 争未有	化とのとり推進事業	事業開始年度	平成21年度

柱	Ⅲ 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画		
部門	1 自然環境	認定番号	_	
大施策	B 緑化の推進	事業名		
中施策	(1)緑化の推進体制の整備/(2)緑地の保全			

2 事業の概要

2.	争录	きの概要									
根	拠法	令・条例等	大磯町いけがき設置奨励事業補助金交付要綱、大磯町シンボルツリー奨励事業補助金交付要綱 大磯町花いっぱい運動推進要綱 大磯町保存樹木等助成金交付要綱								
	個別	別計画等	大磯町緑の基本計画								
:		経営プラン 計画事業	実施番号	実施番号 — 実施項目名 — —							
		目的 のために)	いけがき設置やシンボルツリー植栽による敷地内緑化による良好な景観形成の推進 町民等によるボランティア団体が主体となって、花や緑の植栽の維持管理等の活動に参加する ことにより、花に親しむ機会を拡大するとともに、心のやすらぎと美化意識の高揚を図るために 行う大磯町花いっぱい運動の推進 保存樹木等保全に関する経費の助成								
		対象 を・何を)	いけがき討	いけがき設置、シンボルツリー植栽、保存樹木等の保全及び花いっぱい運動に要する経費							
	・敷地内に植栽するシンボルツリーに対する費用の助成 ・敷地外構にいけがきを設置するために要する経費の助成 ・ボランティア団体による花いっぱい運動に要する経費の助成 ・保存樹木等の保全に関する経費の助成										
	執	.行体制	■ 町職員第	€施	□ 一部委託	あり	□ 全部委託	□ その他			
				単位	平成26年度 (決算)	平成27年度 (決算見込)		平成28年度 (予算)			
	直	接事業費	(a)	千円	490		611	750			
		国庫支出金		千円							
		県支出金		千円							
事		起債		千円							
業		その他		千円							
費		一般財源		千円	489		611	750			
	職員人数(概算職員数) 人 件 費 計 (b)			人	0		0. 14	0. 14			
				千円	858			808			
	総	》事業費 (a)+((b)	千円	1, 348		611	1, 558			
	事業費内訳										

		と見込み、目標 名)	単位	26年度 (実績値)	27年度 (実績値)	28年度 (見込み又は計画値)
対象指標	1	いけがき・シンボルツリー申請件数	件	4	1	5
(対象者数等)	2	花いっぱい運動団体数	件	7	5	5
活動指標	1	いけがき・シンボルツリー本数	m/本		4	8
(活動量)	2	緑化面積	m²	47	47	50
成果指標	1					_
(達成度等)	2					

٠.	チジャメ	ш						
			■ 妥当	□ おおむね妥当		変更の必要な	あり	□ その他
妥:	・実施主体は 妥当か	理由	町民等からの申請に いる。	より、都市計画課に	て審査	査を行い、各種	重補助金	⋛等の交付を行って
当性			■妥当	□ <mark>おおむね妥当</mark>		改善の必要な	あり	□ その他
12	・実施手段は 妥当か	理由	各要綱に適合してい	いるものについて、規	定の	補助金の交付る	を行って	こいる。
			□ <mark>得られている</mark>	おおむね得られている		得られていた	ない	□ その他
成果	・意図した成果 が得られてい るか							
			□ 効率的	■ <mark>おおむね効率的</mark>		非効率		□ その他
効率	・コストに対し て効率的か	理由	花いっぱい運動に要 効果的である。	でする経費については	、ボ [・]	ランティア団(本に対す	⁻ る花苗の支給のみで、
性			□図った	□ 図られていない		図る余地は舞	悪い	■ その他
	・コストの削減 等を図ったか	理由	年間の申請件数が何 緑化の推進をさらに図		ホー	ムページや広转	報等で制	度の周知を行い、町内
			A 妥当性、成果、効	率性はおおむね良いが、	改善	の余地がある		評価理由
:	担当課による評価		B 事業の一部見直 C 事業の抜本的な D 事業継続の必要	見直しが必要	廃止)		果は得	に対して、緑化推進の効 られている。今後も制度 の周知を図っていく必要 。

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点

緑化の推進及び緑の保全に関する条例に基づき、広報・ホームページ等により制度の周知をよりいっそう図っていく。

② 平成28年度に着手する事項

平成26年1月に制定した「大磯町緑化の推進及びみどりの保全に関する条例」に基づき、ホームページや広報などにより積極的に周知を図っていく。

③ 平成29年度に着手する事項

制度のPRをより一層行い、申請件数の増加を図っていく。

6.平成29年度事業への取組み状況(改善内容等)

記入日

平成29年3月28日

各助成事業の継続により町内の緑化を推進するとともに、新たな活動団体の募集を行っていく。

		シート作成日	平成28年9月27日
予算事業名	松くい虫被害対策自主事業	担当課名	都市計画課
7 异甲未石	位へい、五似音列東日工事未	係名	都市計画係
細分事業名		事業番号	40
一一一一一一一一一一	_	事業開始年度	昭和57年

柱	Ⅲ 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画		
部門	1 自然環境	認定番号	_	
大施策	A 自然環境の保全	事業名	_	
中施策	(1) 自然環境の保全			

2 事業の概要

2.	争录	ミの概要								
根	拠法	令・条例等	森林病害虫	森林病害虫防除法						
	個別	削計画等		-						
:	行政約 実施	経営プラン 計画事業	実施番号	_	実施項目名		_	_		
		目的 Dために)								
対象 (誰を・何を) 松くい虫被害対策自主事業計画に基づいた松										
	内容 松くい虫被害の予防対策として樹幹注入、松くい虫の駆除対策として特別伐倒を委託により 施						て特別伐倒を委託により実			
	執	行体制	□ 町職員実	ミ施	■ 一部委託	あり	□ <mark>全部委託</mark>	□ その他		
	_			単位	平成26年度 (決算)		平成27年度 (決算見込)	平成28年度 (予算)		
	直	接事業費	(a)	千円	687		2, 503	3, 883		
		国庫支出金		千円						
		県支出金		千円	260		897	1, 186		
事		起債		千円						
業		その他		千円						
費		一般財源		千円	427		1, 606	2, 697		
	耶	00000000000000000000000000000000000000	草職員数)	人	0. 14		0. 19	0. 28		
		人件費計	(b)	千円	858		1, 134	1, 616		
	総	事業費 (a)+((b)	千円	1, 545		3, 637	5, 499		
	事業費内訳 松くい虫被害対策委託料:3,829千円 苗木代:54千円									

		と見込み、目標 票名)	単位	26年度 (実績値)	27年度 (実績値)	28年度 (見込み又は計画値)
対象指標	1	枯松の本数	本	50	11	40
(対象者数等)	2	計画対象の松	本	50	85	79
活動指標	1	特別伐倒の本数	本	50	11	40
(活動量)	2	樹幹注入対策の本数	本		85	79
成果指標	1	対策実施率 (伐倒)	本	100	100	100
(達成度等)	2	対策実施率 (樹幹注入)	本	100	100	100

妥当性			■ 妥当	□ <mark>おおむね妥当</mark>	□変	更の必要を	<mark>り</mark> □ その他	
	・実施主体は 妥当か	理由	現地調査や実施計画 り、実施主体は妥当で		、実施詞	計画に基づく	対策は専門業者が実施してお	
	・実施手段は 妥当か		■ 妥当	□ おおむね妥当	口改	善の必要あ	り □ その他	
		理由	樹幹注入や駆除対策 必要な対策については				する専門的な知識と技術力が 妥当である。	
成果	・意図した成果 が得られてい るか		□ <mark>得られている</mark>	おおむね得られている	□ 得	られていな	い 口 その他	
		理由	専門業者への委託にる。	こより、適正な対策を	実施し ⁻	ており、松柱	れ量はやや減少する傾向にあ	
効率性	・コストに対し て効率的か		□ 効率的	■ おおむね効率的	口非	効率	□ その他	
		理由	予防的な対策(樹幹注入)を行うことで、松くい虫の被害の拡大を未前に防いでいる。					
	・コストの削減 等を図ったか		□図った	□ 図られていない		る余地は無	い ■ その他	
		理由	松枯れ量が前年度に比べ減少したことで、コストの削減は図られたが、年により量の上下があるので、一概には言えない。					
担当課による評価			A 妥当性、成果、効	率性はおおむね良いが、	改善の	余地がある	評価理由	
			B 事業の一部見直 C 事業の抜本的な D 事業継続の必要		廃止)		決められた予算の範囲内で松 くい虫対策を適正に行ってい る。今後、抵抗性松の植栽に重 点を置いた事業展開を検討す る。	

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点 事業計画に基づき、引き続き松林の保全に取り組んでいく。 ② 平成28年度に着手する事項

事業計画に基づき、予防対策(樹幹注入)を行うとともに、枯れ松を駆除することで、引き続き松の保全に取り組む。

③ 平成29年度に着手する事項

抵抗性松の植栽に重点を置いた事業展開について、検討を行う。

6.平成29年度事業への取組み状況(改善内容等)

記入日

平成29年3月28日

枯れ松の伐倒、松枯れ予防のための樹幹注入、抵抗性マツの植栽の3本の事業を引き続きバランスよく実施していく。